

# ぼれぼれ

通信



文部科学部会長退任  
その一年を振り返る

11・12月号  
vol.67



## 文部科学部会長として たくさんの中を実現！

昨年11月、自民党の文部科学部会長（以下、文科部会長）に就任した山本は、本年8月に行われた内閣改造に伴う自民党内の人事が9月に行われ、山本は文科部会長を無事に退任した。本通信では、約一年間の文科部会長としての仕事ぶりを振り返ることとする。山本文科部会長は、同部会の下に「学校現場のいじめ撲滅プロジェクトチーム」、「教師の研修向上実行プロジェクトチーム」、「学校DX推進プロジェクトチーム」、「日本語教育の今後の方向性に関する検討プロジェクトチーム」と4つのプロジェクトチームを作り、各テーマに沿った政策課題をする専門的、集中的に議論する場を設けた。加えて、私立学校のガバナンス改革に向けた党内のインナー会議も創設し、私学の諸関係団体との意見交換が可能な場も設けるなど、本来の部会が行

わなければならぬ業務以外にも必要に応じて、部会長の権限を最大限活用して改革を実行した。

## 自民党の部会 部会長つて何？

先ずは、自民党内の部会、その部会長とは、どの様なものかを説明したい。自民党では、政務調査会の中に中央省庁に対応するために14の部会という機関が設置されている。山本は、そのうちの文部科学分野を担当する文部科学部会（以下、文科部会）の部会長に就任をした。

文科部会の役割は、法案・予算等の審査、文部科学案件の協議、公約原案の作成などである。部会が審査する対象は、閣法（内閣が提出する法案）、議員立法、予算（概算要求、本予算、補正予算など）

など、税制改正、提言、決議、重要な閣議決定案件がある。重要なポイントは、これらの対象の内容を全て部会で審査をし、問題点があれば必要に応じて修正を行う。そして、最終的に部会の了承を得なければ、党内の手続きが一歩も前に進まないことになる。部会で了承されれば、党の政策審議会に諮られ、その了承後、党の最高意思決定機関の総務会に諮られ、その後は、所属議員の行動を縛る「党議拘束」がかかるため、部会の重要度は極めて高いのである。加えて、部会の運営は、全て部会長に一任されており、与党・自民党での政策決定過程において部会長の権限もまた極めて重要度が高いのである。



▲いじめ撲滅PTの提言を説明する山本

査対象として了承した閣法、議員立法、予算、提言、決議などを党の政策審議会（以下、政審）や総務会において説明を行うのも部会長の重要な役割なのである。つまり、一つの法案を審査するということは、部会を開催し、議論、審議対象として了承した閣法、議員立法、予算、提言、決議などを党の政策審議会（以下、政審）や総務会において説明を行うのも部会長の重要な役割なのである。つまり、一つの法案を審査するということは、部会を開催し、議論、審

査、了承を終えてから、政審、総務、と部会長だけは、一法案三会議が少なくとも必須になつて來るのだ。もちろん、部会を複数回開催することも度々あるので、単純に三会議と言つても三回会議に出席すれば済むという単純な話でもない。

更に、山本は、以上のような本来業務に加えて、4つのプロジェクトチームとインナー会議を作り、熱心に文科関係の政策課題の解決に奔走した。

## 山本文科部会長が打ち出した新機軸

部会の運営を通常通りに行えば、その関連分野の全般的な法案や予算などの審査で一年が過ぎ去ってしまう。そこで、山本は部会本来の業務を遂行しつつ、文部科学政



▲末松文科大臣(当時)に提言を手交する山本

策分野の中でも短期的、集中的に議論を行い結論を出す専門のプロジェクトチームを立ち上げることによつて様々な案件を解決する手法を取つたのである。実は、以前にも山本は、部会長の任にあつたことがある。その際は、防衛分野を担当する国防部会の部会長であつた。その際に部会長の権限や部会長が何が出来るのかを知る良い経験を積むことが出来、その経験を積むことにはいかない。従つて、業務は数倍に膨れ上がつたプロジェクトチームに山本が、やる気に満ち溢れた山本は、

一向に意に介さなかつた。歴代の文科部会長でこれだけのプロジェクトチームを立ち上げた部会長はいなかつたそうだ。それだけ山本の職責への熱意が強かつたことが分かる。

「学校現場のいじめ撲滅プロジェクトチーム」では、与野党間での調整や国会審議が必要な法改正を行わなくても大臣の権限によつて加害児童・生徒を登校させずに被害児童・生徒から物理的な距離を取ることで被害児童・生徒を守ることが出来る画期的な制度を考え

験則に基づいて、今回は、多くのプロジェクトチームを立ち上げたのである。当然、それら立ち上げたプロジェクトチームに山本が、それぞれ任命した役員に任せっきりというわけにはいかない。従つて、業務は数倍に膨れ上がつたが、やる気に満ち溢れた山本は、



▲末松文科大臣(当時)に直接提言をしている山本

て、提言をまとめた。「教師の研修向上実行プロジェクトチーム」においては、教員免許の更新制が廃止されることに伴い教師の質を維持・確保することが困難になるのでは、との懸念を払拭するために新たな研修制度を設けるなどの具体的な対策を政策として立案し提言を行った。「学校DX推進フ

ロジェクトチーム」は、政府が行っているデジタル田園都市国家構想にも呼応しつつ、児童・生徒、一人一台のタブレットの配布などの学校での教育の場だけでなく、教師が日々行う校務などの学校全般のDX化の必要性とそれらにどれだけの予算が必要なのか具体的に算出し提言を行った。「日本語教育の今後の方針性に関する検討プロジェクトチーム」では、現在、何の資格も無く日本語教師として日本語学校で教鞭を持つている人たちや学校としての要件が定められていない日本語学校に対して、日本語教師の国家資格化、学校としての位置づけを明確にすることを検討し、来年には、法案を国会に提出するように政府に働きかけを行った。これにより日本語学校や日本語教師の質を底上げし、より良い教育環境の創出を行う。また、私立学校のガ

バナンス改革に向けた党内のインナー会議においては、私立の幼稚園、小学校、中学校、高校、大学と様々な規模、地域性など複雑な問題を抱えつつも関係諸団体との意見調整を行い、ガバナンス強化改革を実施する法案骨子をまとめ上げ、これも来年の国会では法案を提出するよう政府に働きかけを行った。まとめ上げた提言や法案は、その都度、総理官邸や文部科学省を訪問し、官房長官や文部科学大臣に直接、それらの内容や検討した経緯や背景を説明し、必要性を訴え、いずれも賛意を得ることができた。

このように数多くの政策的課題を解決し、道筋を付けた今期の自民党文部科学部会であった。機会があれば、本通信で各プロジェクトチームの奮闘振りも詳しく報告をしたい。



# 会議室を一般開放しています

事前予約のみで会議室が使用できる!

JR鎌倉駅（西口）の目の前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの事務所だけでなく、会議室として一般開放を行っています。事前のご予約のみでご利用いただけるので、地域や町内の活動のための会議などにぜひご活用ください！また、定期的なご使用や、商業目的のご使用の場合は、別途ご相談いただければと思いますので、まずはお気軽に下記山本ともひろ事務所までお問い合わせください。

※公職選挙法の関係で、無料で開放することができないことから、使用料をいただきますこと、ご了承ください。



▲自由民主4区会館の外観



▲第1会議室



▲第2会議室

## 自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料	
第1会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円
第2会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円

### ■山本ともひろ事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F  
TEL.0467-39-6933



# 駅で「ぽれぽれ通信」を お配りしております **駅頭活動報告**

「早くコロナが収まつていつもと  
同じ活動が出来るといいですね！」  
などのご意見をいただいてます！  
ありがとうございます！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の  
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



### 前回の「ぽれぽれ通信」配布数

9月・10月集計分

駅名	9月	枚数	10月	枚数	前月比
逗子駅				—	—
逗子・葉山駅				—	—
鎌倉駅(東口)				—	—
鎌倉駅(西口)				—	—
大船駅(西口)				—	—
大船駅(モノレール口)				—	—
大船駅(東口)				—	—
大船駅(笠間口)				—	—
本郷台駅				—	—
港南台駅				—	—
	9月配布合計		10月配布合計	—	—

簡単にアクセス  
できます！

Twitter facebookは本人がやっています

専用のアプリをダウンロードして右のQR  
コードを読み取りください。(iPhone除く)



Twitter



Facebook



HP

# 山本ともひろプロフィール

## 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

自由民主党  
衆議院議員(5期 14年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
47歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?



「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。

## ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和4年(2022年)11月1日発行 第67号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。  
またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。